

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2024.2.3
第1083回放送分『ACP』1回目 ゲスト：大瀬克広ドクター



二見いすず

今月のドクタートークは

「ACP アドバンス・ケア・プランニング」をテーマにお送りいたします。

お話は、鹿児島県医師会の大瀬克広（おおせ かつひろ）ドクターです。

大瀬さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

大瀬克広Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

アドバンス・ケア・プランニング、その頭文字をとってACPという言葉ですが、初めてお聞きになったという方も多いかもしれません。

これはどういう意味なのでしょう？

大瀬克広Dr.

それは、「自分が受けたい医療について、家族や医療者と話し合っておくこと」という風に理解していただくと、よろしいかと思ひます。

ACP アドバンス・ケア・プランニングは、医療や介護に携わる者には理解が広がっていますが、一般的にはまだ認知度が低いのが現状と思ひます。

そこで厚生労働省では人生会議という愛称をつけて、広く一般に周知しようとしています。

二見いすず

アドバンス・ケア・プランニングは、イコール人生会議なんですね。

大瀬克広Dr.

はい。ただこのアドバンス・ケア・プランニング、人生会議の話をする前に、まずは緩和ケアについてお伝えいたします。

二見いすず

わかりました。

大瀬克広Dr.

緩和ケアというと、「末期がんなどの患者さんが受けるもの」というイメージを持たれる方が多いかもしれません。

二見いすず

そうかもしれませんね。

大瀬克広Dr.

しかし、緩和ケアイコール終末期医療ではないんです。

緩和ケアは、がんの初期から受けることもできます。

そして痛みなどの身体的苦痛だけを取り除くのではなく、精神的な不安、治療における経済的な問題、お子さんがいるなら学校のことなど、さらには患者さんの家族の対応まで、医学的な治療だけではなく、さまざまなスタッフが全面的にサポートをします。

二見いすず

このような相談はどこでできるのですか？

大瀬克広Dr.

「がん相談支援センター」がある病院に相談してください。

「今、別の病院にかかっている」という患者さんでもお気軽にご相談ください。

二見いすず

大瀬さんは、いまきいれ総合病院にいらっしゃいますが、こちらでも相談できるということですね？

大瀬克広Dr.

はい、そうです。鹿児島県内では離島を含め各地域に全部で27の病院に、無料の「がん相談支援センター」があります。

二見いすず

はい。

大瀬克広Dr.

がんの治療を受ける中で、いろんな選択肢がありますが、よりよい選択をするために、「自分が何を大切にしたいか？」を医療者や家族と一緒に、計画しましょうというのが、人生会議なんです。

「誰が自分の気持ちを代弁してくれるか？」これを決めておくことが大切です。

二見いすず

よくわかりました。

今月は「ACP アドバンス・ケア・プランニング」についてお伝えしております。

お話は鹿児島県医師会の大瀬克広ドクターでした。

大瀬さん、ありがとうございました。

大瀬克広Dr.

ありがとうございました。